

【⑦神仏をまつる人々】課題－方針－措置－進捗－一覧表

◎：達成 ○：着実に取組み中 △：未達成 ×：未着手 ー：後半期の取組み

調査・研究・保存			文化財・文化遺産を守る						達成状況	現状	課題・ハードル	新たな取組みなど		
課題	方針	措置	事業名	事業概要	取組主体	財源	実施年							
							1年目～ (R3～5)	4年目～ (R6・7)	6年目～ (R8～12)					
構成文化財の継続した調査研究と共有が必要	地域住民の協力を得た継続事業の取組	調査研究と共有	彫刻等有形文化財の調査研究	継続した美術史学、歴史学、文献史的調査の実施	行政、所有者、学術	国費、町費	継続事業	→		○	文化財保護審議会委員などの協力も得て調査を進められているが、さらに継続していく必要がある			
			無形民俗文化財の調査研究	継続した民俗学的調査の実施	行政、所有者、学術	国費、町費	継続事業	→		○	記録映像化など取り組んでいるが、さらに個別の調査を進める必要がある			
			一般に向けた調査研究の共有	構成文化財の調査研究情報を、広報めいわず、さいくうあと通信で共有	行政	町費	継続事業	→		○	さまざまな媒体での発信を通じて共有が図れている			
未指定文化財の保存体制が確立されていない	町指定に向けた取組	指定・登録	指定に向けた詳細調査	彫刻等有形文化財の町指定に向けた詳細調査	行政、所有者、住民	町費	継続事業	→		○	調査候補の仏像への調査が進み、2件の新指定に結びついている一方、さらに未調査の仏像について製作時期などを継続調査する必要がある			
地域社会全体での防災・防犯意識が十分でない	防災・防犯訓練の継続実施と住民参加の取組	防犯・防災	構成文化財の防犯・防災活動の実施	構成文化財の防災・防犯訓練の実施	所有者、行政、住民	国費、県費、町費	→			△	消防と連携し文化財防火デーでの点検を実施しているが、定期的な訓練の実施はできていない	所有者との密な関係の構築	警察とも連携を取れないか検討を進め、職員による定期的な巡回や、個別の防災・防犯課題の洗い出しを進める	
防犯体制設備が整っていない	公開に伴う防犯体制の充実が必要		有形文化財の盗難・災害対策設備の導入	彫刻等有形文化財の盗難・災害対策設備の導入。監視カメラや消火設備の導入を検討	所有者、行政、住民	国費、県費、町費	→			△	防犯に関わる補助メニューの検討を進めている	予算	補助制度の検討など継続して進めていく必要がある	
構成文化財の継続した伝承・継承活動の実施が必要	地域住民の協力を得た継続事業の取組	次代の担い手の育成と継承	有形文化財の伝承・継承	彫刻等有形文化財の伝承、継承や文化財後継者の育成、支援	所有者、住民、行政	国費、県費、町費	継続事業	→		○	講演会や通信などで価値の共有を図っている			
	教育委員会や学校との連携が必要		無形民俗文化財の伝承・継承	祭礼など無形民俗文化財の映像記録作成や祭礼伝承の支援	所有者、住民、行政	国費、県費、町費	継続事業	→			◎	文化庁の補助事業を受けて映像記録化ができた	担い手不足などが進行しており、事業成果を基に継続して伝承・継承の機運を醸成していく必要がある	道具の用材や技術などの継承課題の洗い出しを進める 継続した映像記録が実施できるよう地域住民や行政チャンネルなどの協力を得ながら映像記録化する仕組みや公開ルールなどを定める 次世代の関心を高めるため、まつり協力隊制度（仮）の検討などもすすめる
	教育委員会や学校との連携が必要		学校での構成文化財教育	彫刻や祭礼を活用した授業を企画し、学校教育との連携を実施。	学校、所有者、行政	国費、町費	継続事業	→			○	郷土学習や中学校のふるさと体験学習で連携が進みつつある	地域の人々に出会うための環境整備（移動手段、費用、調整）などを行うことや、地域住民の協力を得ること	郷土学習における地元住民との出会う機会創出や多様な外部人材の発掘と学校間の人材情報や授業方法の共有について教育委員会と連携して充実を目指す

活用		文化財・文化遺産を活用する							達成状況	現状	課題・ハードル	新たな取り組みなど
課題	方針	措置	事業名	事業概要	取組主体	財源	実施年					
							1年目～ (R3～5)	4年目～ (R6・7)	6年目～ (R8～12)			
外部への情報発信不足	事業を継続しつつ、外部への情報発信が必要	価値と魅力の情報発信	構成文化財の公開	外部での構成文化財の講演会、現地公開イベントの実施	行政、民間、住民	国費、県費、町費	継続事業 →			○	講演会などを実施	
専門ガイドの不足	専門ガイドの育成	人材の育成	ガイドの育成・体制強化	構成文化財のガイド育成	民間、住民	国費、町費	→			△	一部の所有者において来訪者への案内や啓発が行われているが、組織的な体制の構築にはいたっていない	人員・公開環境 防犯上のハードルをクリアしながら充実をはかるとともに、ガイドに向けて説明看板など情報伝達の機能設置を所有者の理解を得ながら進める
滞在時間の短さや観光商品の少なさ	建造物の活用や観光商品の企画化による滞在型観光へのシフト	観光振興の推進	構成文化財を活かした観光商品の開発	構成文化財に因んだツアー商品の開発	民間、行政	国費、町費	継続事業 →			×	ツアー造成にいたっていない	人員・公開環境 防犯上のハードルをクリアしながら実現できる条件を整えていく
環境整備		文化財・文化遺産の環境を整備する							達成状況	現状	課題・ハードル	新たな取り組みなど
課題	方針	措置	事業名	事業概要	取組主体	財源	実施年					
							1年目～ (R3～5)	4年目～ (R6・7)	6年目～ (R8～12)			
誘導案内や移動手段が少ない	誘導案内看板の設置が必要	周遊性向上	誘導案内の整備	誘導看板等の適正設置に向けた調査、アンケート実施	行政、民間	国費、町費		→		×	調査・アンケートを実施できていない	人員・公開環境 防犯上のハードルをクリアしながらアンケートの実施に取り組む